

2020年度

関西北陸ブロック 活動事例集



大阪・兵庫・和歌山エリア



京滋・奈良エリア



北陸エリア



今年の一取り組みの振り返りに！
来年に向けてのヒントに！

2020年度の関西北陸ブロックの
取り組みが詰まった一冊！





2020年度 関西北陸ブロック活動事例集 目次 (👉を押すと該当ページに飛びます)

新入生コミュニティ企画

- 👉集まれオンライン座談会 ~放課後おしゃべりタイム~ 滋賀大学大津地区生協
- 👉オンライン交流会 滋賀県立大学生協
- 👉友だちフェア 大阪市立大学生協
- 👉大学生活なんでも相談会 大阪経済大学生協

SNSを利用した取り組み

- 👉SNSの発信 同志社生協 今出川キャンパス
- 👉SNSの取り組み 奈良教育大学生協
- 👉組織部LIVESTREAM 大阪市立大学生協

新学期の取り組み

- 👉学生委員会の新学期活動 奈良女子大学生協
- 👉履修相談会（後期） 奈良教育大学生協
- 👉合同委員会説明会 大阪電気通信大学生協
- 👉オープンチャットでの履修相談 神戸市立外国語大学生協
- 👉保護者説明会 大阪樟蔭女子大学生協
- 👉入学準備ガイダンス 兵庫県立大学生協

最終版は2021年1月上旬に第3弾から更新した状態で配布いたします！



2020年度 関西北陸ブロック活動事例集 目次 (👉を押すと該当ページに飛びます)

総会・総代会の取り組み

- 👉総代会議 京都教育大学生協
- 👉議案書ダイジェスト 大阪大学生協

健康・安全の取り組み

- 👉レシートバランス調査 滋賀大学彦根地区生協
- 👉健康フェスタ2019 大阪市立大学生協
- 👉オンラインKG共済NEWS 関西学院大学生協

社会的課題に関する取り組み

- 👉ペットボトルキャップの回収 阪南大学生協
- 👉1.17防災の取り組み 甲南大学生協
- 👉週刊ちょっきに 近畿大学生協

事例集を読んだ感想をお聞かせください！

事例集を見ていただきありがとうございます！
活動を振り返るときやこれからの活動を考えるときに事例集を使ってもらいたいと思い作成しました！
今年度の事例集は昨年度のものより、活動内容がわかりやすいようにK'sNEWSを用いました。
企画担当者のコメントや企画で使ったパワポデータを添付してこれからの活動を考えるヒントを見つけられるように掲載内容を工夫しました。
今後、さらに事例集を見やすいもの、利用しやすいものにしていきたいと思っています！！
アンケートの回答にご協力をお願いします！！

[アンケートはこちらから](#)

最終版は2021年1月上旬に第3弾から更新した状態で配布いたします！

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.9.30
Vol.040
【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

新入生の気持ちに寄り添う対応

滋賀大大津の生協学生委員会Willing(以下Willing)のオンラインでの交流会では企画段階から新入生への気持ちを大事に考えていました。

活動概要

Willingでは、新入生の不安解消や新入生同士のコミュニケーションの場を作るためにオンラインでの座談会を開催しました。企画を作るうえで新入生の気持ちに寄り添うことを1番大切に考えました。



POINT.1

現状分析を生かして企画へ！

企画を作る上で、店長さんと正副委員長で打ち合わせを何度も重ねました。その中で、大学が入構禁止の状況やWEB授業の状況を踏まえて新入生の現状を考えたり共有しあったりしました。その中で、「新入生は誰とも話さない1日を送っているのではないか」という現状も見えてきました。

ここでは、企画の申し込みと同時にアンケートを取り「どんな企画をしてほしいか」「不安なことはなにか」などを聞き、それを企画の中会話の内容として生かしていました！

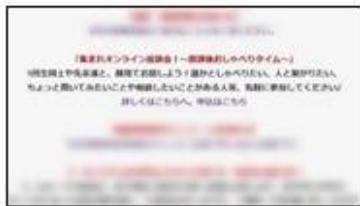
当日は、なるべく新入生が話しやすい雰囲気を作るために、少人数でのグループを作ることを意識し、新入生2人に対してWillingが1~2人を回覧していく形式でおしゃべりタイムを行いました。参加者から、少しでも人と話すことができてよかったと感想がありました。



POINT.2

職員と連携しての企画運営

この企画では店長さんと連携した情報宣伝が行われました。ホームページや、新入生全員にメールで案内をすることができより多くの新入生に案内を届けられました。学生と職員がともに作っていくことでできる幅が広がっていきます。



【新学期】
×
【広報】



滋賀大学大津地区生協
集まれオンライン座談会
放課後おしゃべりタイム

企画担当者からのコメント

オンラインでの企画で、さらに対面での情報宣伝が不可能という状況の中開催した企画ですが、メールアドレスを使って企画の存在を知らせました。先輩や同回生と交流する場ということで、参加者が気を遣わずに過ごせるように関与する先輩の数を調整したり、緊張をほぐすために最初に少人数でコミュニケーションをとる場を設けました。直接的な宣伝ができない分、情報宣伝が不十分だったことが課題です。

職員の方からのコメント

コロナにより、新入生に対する企画がすべてキャンセルとなり学生委員会のモチベーションが心配でした。特に、今年は参加者100人を目指して頑張ってきたので、ショックは大きかったように思います。新入生は、友達もいなくて、授業も勝手がわからないままオンラインがスタートしているという事実を知りました。そんな新入生に対して、何とか力になれないかということを試行錯誤して実施しました。結果として、参加者は増えませんが、取り組もうとチャレンジしたことが成果です。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

新入生と関わることで不安や悩みを解消するほか、現状や実態について情報を得ることができた。なかなか直接的なコミュニケーションをとれない中、人と話す良い機会になった。

●取り組みから見た課題

人の輪を広げる場であったが、先輩はともかく同回生との交流は参加者が少なかったため、不十分だと感じた。オンラインのどこからでも参加できる強みと参加しにくい弱みが出てしまったと思う。



組合員の現状

入学したが学校に行けず、先輩や同級生と実際に関わる機会も少ないため、大学生活に不安を持っている。

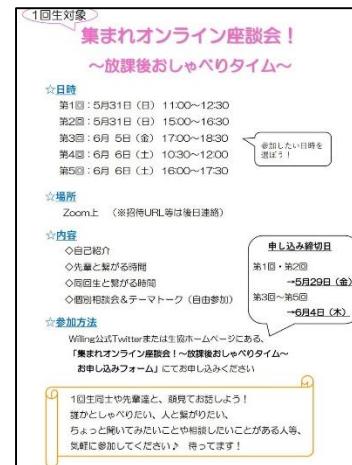


組合員の理想の姿

先輩や同級生と関わり交流することで、大学生活への不安や悩みを解消でき、交友関係が広がる。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！



Twitter [【@】](#)



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [菊池 愛海]
Kikuchi.Manami@univ.coop

新入生の現状に寄り添った友達企画

参加者からは「大学の友達ができた」や「学科のことを先輩に相談できた」という感想が多くあり開催してよかったと思います！
滋賀県立大学生協 2回生 田付 新朋

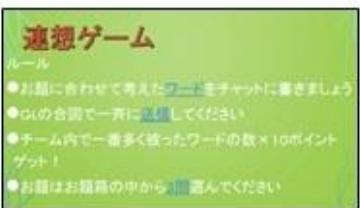
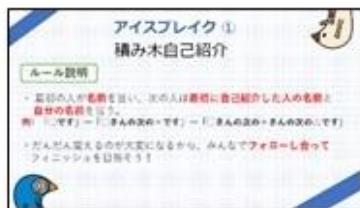
活動概要

2020年6月20日(土)、27日(土)、28日(日)
Zoomを用いて学部ごとに3日に分け、学科ごとに班を作り交流してもらいました。先輩への質問タイムの時間を設けて新入生の悩みを解消することができました。



POINT.1

新入生同士が仲良くなれるための工夫点



企画を考えるにあたってTwitterにて「友達ができていないから交流したい」という新入生の声があることに気づき、実際に滋賀県立大学生協学生委員会のTwitterで新入生がオンライン交流会の場を求めているのかアンケートを取りました。アンケート結果から企画を行うことに決め、新入生同士が連絡し合える友達を作ってもらうことを企画の目的としました。3日間の開催で合計28人の参加がありました！企画内容としてはオンラインでも楽しむことができ仲良くなることができるゲームを3つ用意したり、班のメンバーと話すフリートークの時間や先輩への質問タイムの時間があり、フリートークの時間がとても好評でした！参加者アンケートには、参加者全員が「同じ学科の友達・先輩と交流することができた」と回答しました！

POINT.2

振り返りを次に活かす！！

3日間の開催でしたが、1回ごとに企画後すぐに振り返り会議を行いました。慣れないオンライン企画だからこそ振り返りを重ねてより良い活動につなげることができていました！最終日には運営側もスムーズに対応することができ、参加者とともに企画を楽しむことができました！



〈考えてみよう!!〉

オンライン企画に取り組んでいる大学が多いと思います。オンライン企画をした結果、組合員がどうなったかを考え、継続して組合員・新入生にアプローチするにはどんなことができそうか考えてみよう！

ブロック学生事務局 [橋 遼太郎]
Tachibana.Ryotaro@univ.coop

[新学期]



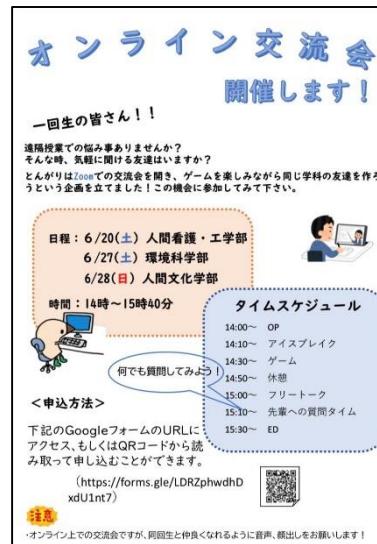
滋賀県立大学生協 オンライン交流会

企画担当者からのコメント

Twitterを用いて新入生にアンケートをとったところ、4月からの対面授業で新入生が大学の友達が全くいない人が多く、オンラインでも交流会を開催してほしいという声が多かったので開催することにしました。オンラインの交流会という前例のないことをオンラインで会議するという今までやったことないやり方でやったので、進めるときに苦労しました。その中でパワポ、ゲーム制作担当・参加者とのコンタクト担当・全体の流れを考える担当などに役割分担をすることで、形としては成功させることができました。(学生委員長 田付)

職員の方からのコメント

4月以降大学が立入禁止となり、学生委員会自身も部会など開催できていない中、手探りで開催に繋げることができました。例年と違う環境の中で例年になくニーズが生まれていることに目を留めて、行動に移すことができたのは非常に良かった。オンラインで勝手は違うものの、これまでの学生委員活動における企画準備や参加者とのコミュニケーションなどのスキルやノウハウが活かされたものだったと思います。(専務理事 藤井)



Twitterの情宣

オンライン交流会の企画書はこちら

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
友達ができるかどうか心配なことや学科・日常生活のことに対しての不安なことを同じ学科の先輩が説明することで悩みを解消することができた！また、新入生同士で交流することができました！
- 取り組みから見えた課題
オンラインの活動の中ですぐに仲良くなることは難しい。対面でやっていたことをそのままオンラインで活用するのではなくオンラインでのやり方を見つけていきたい。また、仲良くなるにはゲームコンテンツよりも交流することに重点を置いていきたい。



組合員の現状
友達がいない新入生が多く、学科のことや日常生活に対して不安なことが多い

組合員の理想の姿
この交流会をきっかけに継続的に新入生同士が仲良くなってもらいたい

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！



オンラインでもつながりを！

3月末に予定していた対面での新入生応援企画が中止となりましたが、想いはそのままにオンラインでつながりの場を提供しました！

活動概要

日時：2020年5月31日(日)15:00~16:00

媒体：Zoom

内容：オンラインでミニゲームや雑談会を行い、新入生どうしが楽しくつながる場を提供した。また、先輩と相談する機会も用意して、新入生の新しい大学生活への不安を少しでも減らせるようにした。



POINT.1 新入生どうしがつながる場を用意できた！



大阪市立大学では早くから前期の対面授業が禁止され、キャンパスへの入構も禁止が決定され、新入生は大学で友達を作る機会を失われました。SNS上では「友だちがいなくて」「授業どうしよう」など新入生の不安の声が相次いでいました。

そのような声を受けて、オンラインで新入生どうしが交流する機会を設け、**新入生の友達作りのきっかけとなる場を用意することができました！**

また、オンラインでの授業が始まった時期に、オンライン授業で使用される媒体を使って交流したり、先輩と話したりすることで**新入生の大学生活への不安を軽減することができました！**

POINT.2

たすけあいの輪が広がった！

参加者の一人が学部LINEに参加していて、他の参加者は参加していなかったため、この機会に全員学部LINEに参加することができました。

新入生どうしがつながる場を用意したことによって、結果としてたすけあいの輪が広がりました！今後の大学生活でもその関係は続くことでしょう！

[新学期]



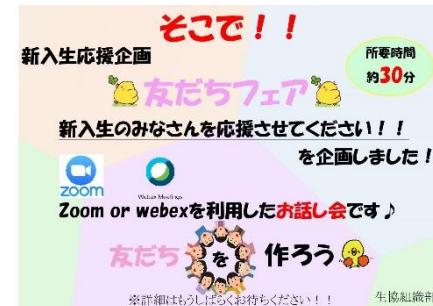
大阪市立大学生協 友だちフェア

企画担当者からのコメント

新入生に友だちがいなくてという点から交流の場を設けて、つながりの輪を広げられる企画にしました。少人数でブレイクアウトセッションを実施し、1対1で話せる場を作ったことが工夫した点です。課題としては大きなつながりの輪を広げられるほど十分な人が集められなかった点があげられます。

職員の方からのコメント

連合会アンケートでも明らかになったように、新入生の皆さんの大きな問題の一つに「友だちがいなくて」ということがありました。新入生の声を聞いて、実際に場を提供できたことはとても良かったと思います。継続的にできると良いですね。



Twitter 情宣は [こちら](#)

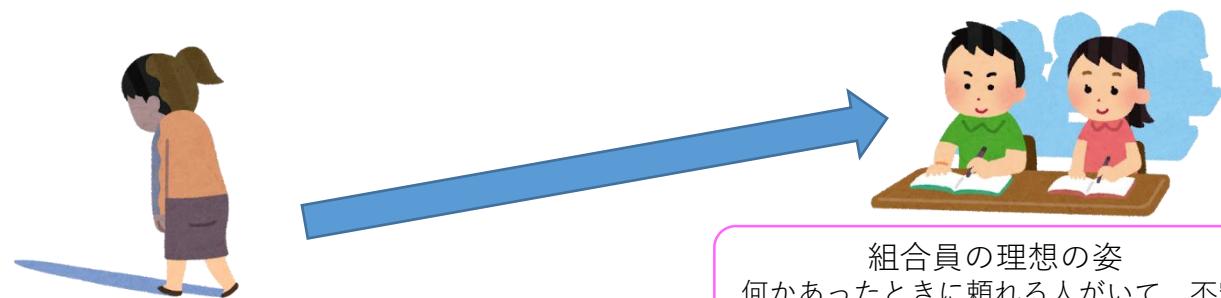
取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

同じ学部の新入生同士のつながりができて、新入生は相談することができるようになって、不安が和らいだ。

●取り組みから見えた課題

企画の認知度を上げて、多数の組合員（新入生とその同じ学部の先輩）を巻き込んで、もっとつながりを広げることができればよかった。



組合員の現状
新入生は友だちがいなくて一人で学業などについて相談相手がいなくて困っている。

組合員の理想の姿
何かあったときに頼れる人がいて、不安が解消され、学業に専念できる。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！

新入生に寄り添って不安を解消！

昨今の情勢により、例年より不安を抱えた新入生に履修方法をはじめとする大学生活に関する相談に乗り、解消することができました！

活動概要

日時○2020年4月1～3日
場所○大阪経済大学 学生会館2階
内容○履修登録の方法や組み方をはじめとする大学生活で新入生が不安に感じることの質問や相談に応じた。



POINT.1

新入生に寄り添うことができた！

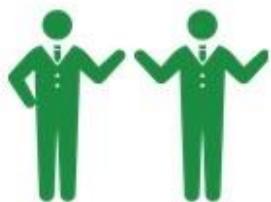
ウイルス感染拡大防止のために定員を設けて、当初の予定より規模を縮小し、アルコール消毒を実施するなど、十分に注意して大学生活なんでも相談会を行いました。大学の履修ガイダンスが中止になったため履修の組み方が分からないなど、履修の方法を知らない新入生が多くいました。そのような新入生にとって先輩が履修の方法を教えてくれるという機会はとても貴重だったと思います。新入生の現状に寄り添い、不安を解消することができました！



POINT.2

先輩としての経験を活かす

相談に来た新入生の中には「何をしたらいいのか分からない」「何が分からないのかもわからない」という状況の人も多くいました。先輩としての経験を活かして実際の大学生活を紹介し、新入生の大学生活のイメージを膨らませることができました！



【新学期】



大阪経済大学生協 大学生活なんでも相談会

企画担当者からのコメント

新入生を学部ごとに分けることで専門的な質問にも対応できるようにし、GIにいない学部に関しては全学部の履修の仕方をまとめたマニュアルを作成し対応できるようにしました。また、GIのメンバーに対して参加者が多かったため時間内で参加者全員からの質問に答えることができるように、あらかじめ来そうな質問や役立つアドバイスをピックアップしました。相談会をスムーズに進めるために、分からないことが分からず、緊張して質問がしづらい新入生に対して初めにピックアップした質問の説明を通じて話しやすい雰囲気づくりを心がけました。

職員の方からのコメント

3日間にわたって、午前・午後の担当シフトを学生委員みんなで話し合っ、当日の受付なども分担して取り組んでくれました。当初「履修説明会」としていたので、新入生が大学に問い合わせたというエピソードもありますが、逆にそれによって大学の職員さんも見学に来られたりして「新入生にとってありがたい企画」「感染対策もちゃんとしている」という評価もいただきました。この企画の中で生協職員のかかわりは、部会と一緒に参加して相談会を「生協の企画として一緒に作り上げる」ことを意識してきたこと。相談会に申し込まれた新入生への連絡をKLASのメール機能を活用して行うときに、相談にのったことです。学生委員の各メンバーが主体的に取り組んでくれたことがとてもよかったと思います。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

この取り組みを通して新入生は大学生活を具体的にイメージすることができた。またこの場で不安を解消し、個々の課題を知ることで自分の理想の大学生になるための一歩を踏み出すきっかけになった。

●取り組みから見えた課題

いろんな生活（部活が忙しいなど）に対しての履修の組み方を提案する準備ができたならよかった。大学の就職課の人と連携して、より専門的な提案ができ、就職課へのハードルを下げることであればよかった。



組合員の現状

新しく始まる大学生活への不安が大きい。特に履修の組み方が分からない。



組合員の理想の姿

大学生活においてできること・したいことに余すことなくチャレンジできる。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！

以下、過去にいただいた回答です！

5万円はいつ？
→6月下旬に学内メールにて給付開始予定
参考：<https://www.osaka-ue.ac.jp/information/news/detail-6049.html>

各学部ごとの男女比は？
→経済 8:2
経営 7:3
情社 6:4
人科 5:5

大学生って何が大事？
→自分で勉強しないと何も得られないから自主的に動くべき！
自由な時間多いので、時間の使い方が重要！自己管理がとても大切

就活について？
→B館就職課に行ってみよう！

学部ごとのコース割合、コースって？
→経済：産業と企業コース・金融コース・暮らしと環境コース・地域経済とまちづくりコース・公共政策コース・国際政治経済コース・グローバルコミュニケーションコース
情社：現代社会コース・経営経済コース・情報コミュニケーションコース
人科：スポーツ健康コース・現代心理学コース・メディアデザインコース

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.10.9
Vol.046

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

一緒に活動する仲間に向けて

新入生にとって、SNSが改めて大事だと感じた今だからこそ、
学生委員全員で見直し、新入生に届くSNSに。

活動概要

例年通りのSNS発信の仕方を見直し、今までの活用方法を活かしながら、今年の新入生はSNSが情報源であるからこそ、今年に合った形でSNS発信しています。



POINT.1

みんなに見てもらえる工夫を

新入生へ向けての発信の中には、たくさんの工夫が見られます。Instagramでは、学生委員の活動経験や新入生へ向けての一言が書かれています。活動内容を中心に、見やすくわかりやすい、そして親しみやすい内容になっています。また、ストーリー機能を使って、企画のリマインドを行ったり、Twitterでは、Instagramの投稿を見てもらえるようにInstagramのURLを載せています。その結果、9月中旬に行われた部会見学では、Instagramを見て、学生委員会に興味を持った新入生がたくさん参加してくれました。継続的に発信をすることで、多くの新入生の心を掴むことができますね！



▲InstagramとTwitter(新入生用)それぞれのアカウントです。実際に見てみてください！

POINT.2

仲間を増やすために

SNS発信に至るまでに、学生委員全員で、この情勢にあった発信方法はどういうものなのかを改めて話し合いました。また、職員さんとも連携をし、たくさんの工夫が見られるSNS発信になりました。

[広報]



同志社生協今出川キャンパス
SNSの発信

企画担当者からのコメント

工夫した点は、「新入生に会えるのを楽しみにしています！」や「Zoom交流会は私たちGIも楽しかったです!!」というように、親しみを持ってもらえるような投稿にすることと、Twitterより可視化しやすく、過去の投稿も見やすいということから、Instagramを使用しました！また、Twitterは新入生用アカウントを使用し、Instagramの投稿のURLと目に付くように表紙の写真を載せ発信しました。たくさんの人に見てもらえるようにTwitterのリツイートは定期的に行いました。
(学生委員3回生 白築)

職員の方からのコメント

コロナの影響でこれまでできていた企画が急にできなくなり当初は混乱していましたが、気持ちを切り替えて『直接でなくても知らせるために何ができるのか』ということを検討しました。YouTubeによるお店紹介や、Twitterでの様々な提案、ZOOMでの新歓企画など新しい取り組みにチャレンジしました。職員からコロナアンケートの結果を共有し、学生の実態や思いを知ってもらい今後の取り組みについて考えてもらうきっかけづくりをしました。(同志社生協 堂免専務)

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果 (目安90字)

今までのSNSの活用方法を活かしながら、今年にあったSNSを発信することができました。新入生向けの取り組みへの参加、そして新入部員獲得にもつながりました◎

●取り組みから見えた課題 (目安90字)

新入生に向けたSNSの発信だけでなく、SNS上での企画(紹介系ではないもの)をできていない状態なので、今回の工夫したことなどを活かして、活発にしていきたいです！



組合員の現状

SNSが組合員の情報源であって、例年以上にSNSを見る回数が多い



組合員の理想の姿

SNSを見て、学生委員会に興味を持ってほしい！

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [芦田 早詠]
Ashida.Sae@univ.coop

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.4.24
Vol.015

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

“伝えきる“ために大事にしたいコト！

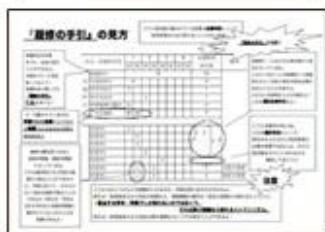
奈教GIの新学期企画はすべて中止となってしまいましたが、今まで準備してきたものを無駄にせず形を変えて新入生に寄り添いました！

活動概要

TwitterとInstagramの質問機能を活用して新入生の相談に答えています。Twitterでは新入生の日常のお悩みや質問を受け付け、Instagramでは履修相談を行いました。質問への受け答えは今まで準備してきたものが生かされています。



POINT.1



SNSでも大事な先輩のコト

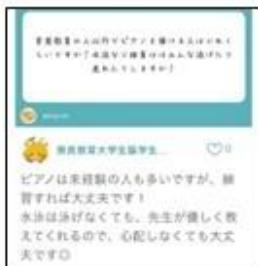
Twitterでは主に大学生活の、Instagramでは履修関係の質問対応を“あえて分けて”行っています。その理由として、Twitterでは大学生活についての個別相談会を企画していたチームが、Instagramでは履修相談会を企画していたチームが運営しているからです。企画自体は中止となってしまいましたが、新学期活動の準備段階で得た先輩の実態や実感（コト）を大切に新入生にSNSを通して伝えていきます。つまり、それぞれの班で準備してきたものを最大限活用することで新入生の不安を軽減することができました。

また、GIが作成した時間割の組み方がわかる“履修マスター”を大学が新入生に配布してもらえることになりました。新入生からは「楽に履修が組めました！」との反応がありました😊

POINT.2

思いやりと優しさ満開

質問のお返事はとてもやさしい言葉ばかりです。先輩から「不安ですよ」「大丈夫です！」と言ってもらえると新入生はとっても安心しますね。1回生ひとりひとりの不安な気持ちに寄り添っているからこそその対応です😊



【新学期】
×
【広報】



奈良教育大学生協
SNSの取り組み

企画担当者からのコメント

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、日本のSNS利用者が増加しました。なかなか学校に行く事ができない今、組合員や他大学の方々、奈教を目指す受験生などたくさんの人に情報発信できたらと思い、奈良教育大学生協学生委員会公式Twitter、Instagramを作成しました。また、この秋新たにGmailも作成しました。TwitterやInstagramは、お陰様でたくさんの方々にフォローしていただき、今まで以上に情報発信ができています。この秋に作成したGmailも工夫しながら活用していければいいなと思います。（学生副委員長 倉石）

職員の方からのコメント

新型コロナウイルス感染症の感染防止で、直接学生と接することが出来なくなった時に、真っ先に「直接会えなくても、学生に寄り添い、支えていかないといけない！」と思いました。特に新入生は分からないことが多く、困っていると思いました。そんな時に学生委員会がSNSを活用した情報発信を積極的に行ってくれたことは、本当に心強かったです。新学期のSNS発信は、正確な情報を丁寧に発信することにこだわり、一緒に発信内容を相談しながら進めてきました。そのことはきっと新入生の支えになったと思っています。（専務理事 石間）

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

SNSを始めたことで多くの人に学委の活動内容を知ってもらえるようになった。また、質問箱を設置したことで新入生を主に学生生活の悩みや不安、相談にのることができた。これからもたくさんの情報発信をしようと思う。

●取り組みから見えた課題

今年度活動してきて、組合員の中にもSNSを利用していない人がいることがわかった。これから受験生に向けた新学期活動に突入するが、もちろん受験生でSNSを見ている人は少ない。だから！奈良教育大学生協学生委員会公式ホームページも作成していこうと思う。多くの人にいろいろな形で見てもらえるよう、工夫していきたい。



組合員の現状
この春入学した新入生は、友達や先輩との関わりがないため、学内の情報が入ってこない。



組合員の理想の姿
私たちのSNSを見ることで、学校や生協学生委員会についてたくさん知ってほしい。

21年度方針との関係性

この箇所は12月の完成版で公開します！



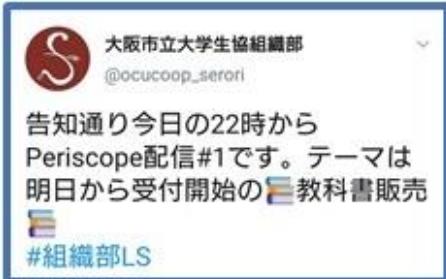
ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [菊池 愛海]
Kikuchi.Manami@univ.coop

情報と安心をたくさんの 新入生に届けたい！

昨今の情勢で不安を抱えている新入生が多いからこそ、この状況でもできることを考え、より新入生に寄り添った形で情報を届けました！

活動概要

組織部LIVESTREAM#1
日時○2020年4月26日(日)22:00~22:30
媒体○Periscope
内容○#1では教科書販売について大学生協で行っていることや学生の実態をLive配信で紹介。アーカイブが残っているのだから見ることも可能。



POINT.1



たくさんの新入生に生活実態に 基づいた情報を届ける！

組織部として活動しているからこそ知っている大学生協の情報や、大学の先輩だからこそ知っている情報を届けることで、大学生協の魅力や大学生活の実態を新入生に伝えることができました！

Liveは「Periscope」という媒体を使いました。拡散力のあるTwitterからそのまま見ることができるので、簡単に閲覧することができ、よりたくさんの新入生のもとへ情報を届けることができました！

さらにアーカイブを残しているので見逃してしまった新入生もいつでも確認することができます。#1のアーカイブ配信は[こちら](#)！

POINT.2

安心を新入生に届ける！

人が話している姿が見える動画のほうが新入生は安心して見ることができると考え、3DCGを使用したLive配信をしました！

また、#1は教科書販売が始まる前日だったため、そのときに新入生が不安に思っているであろうことに関連する情報を届けることで、新入生に寄り添った配信を行うことができました！

今後も、新入生に寄り添った配信をしていく予定です！



[新学期]



大阪市立大学生協
組織部LIVESTREAM

企画担当者からのコメント

3月までは職員の方々と直にコミュニケーションしながら新学期の代替活動を行っていましたが、4月に入り大学入構禁止になったことで本格的に自分たちの手元にあるものだけでできることを考えなくてはならない状況になりました。そのうえで新入生はもちろん上回生にも新しい仕組み（教科書オンライン販売等）を知って利用してもらうために、学生の目に入りやすい形かつ実際に利用する学生としての声を届けやすい形での広報活動を考え企画しました。

職員の方からのコメント

リアルに新入生・保護者の皆さんとコミュニケーションが取れないという未曾有の状況の中で、ぶれずに「新入生・保護者に情報を伝えないと！」と思ってくれたことが良かったです。結果的に、情報を伝える方法はたくさんあったんだと気づくことができ、幅が広がったのかもしれない。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

新入生もとい学生の不安を解消できた。またTwitterで発信する情報に今までよりも目を向けてもらえるきっかけにもなり、結果として市大生協の知名度向上にもつながった。

●取り組みから見た課題

新学期の枠組みとしては独立したものになってしまったので、これより前に行っていたYouTubeの動画投稿と合わせた企画としてできれば、拡散力の向上や他部門との連携につながったかもしれない。



組合員の現状
新入生は自分が属する大学生協というものがなにもものなのかわからない。



組合員の理想の姿
大学生協を知り、それを十分に利用することで理想の大学生活に近づける。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！

LIVESTREAMのアーカイブ
はこちら！↓

- [#1](#)
- [#2](#)
- [#2.5](#)
- [#3](#)
- [#4](#)
- [#5](#)

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.8.8
Vol.034
【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

新入生にとって頼れるおねえさん。

奈良女子大学生協学生委員会WINDYは新型コロナウイルスの影響により、思うように新学期活動は進みませんでした。全力で新入生をサポートしようとメンバーは試行錯誤しながら活動をしていました！

活動概要

学生委員会WINDY（以下、WINDY）は今年度の新学期活動では臨機応変に新入生のサポートを行っていました。入学説明会は動画でUPし、SNSで質問を受け付けたり、生協からのお知らせを発信したりしました！多くの新入生がWINDYのサポートのおかげで新学期のスタートダッシュを切っています！



HPでの説明会動画の

POINT.1

学務課と協同し、受講相談会！

WINDYは学務課との協同でオンラインの受講相談会を行いました。当初、学生が学内や教室で集まることが禁止であることから開催は中止とされていましたが、毎年WINDYが実施していたということから学務課からの相談があり開催が決まりました。学務課からの依頼であったので、入学式の入学資料配布のタイミングでLINEをWINDYの担当メンバーと新入生全員が交換し、**各学部のグループLINE**を作成しました。特別に教室を借り、教室から学生が**グループLINEのライブ配信機能**を利用しての相談会を行いました。グループLINEのコメントから直接相談に応え、新入生の疑問を解消しました。**臨機応変な学校の対応に素早く応え、たくさんの新入生のサポート**を行うことができました！
また、受講相談会のために作成したLINEグループは新入生のコミュニティの場にも活用されています！離れていても、新入生のコミュニティを形成することができました！

POINT.2

SNSの超丁寧な活用がサイキョ～！！

WINDYは新入生と直接会う機会が少なく、入学に関する疑問などを解消する目的で質問箱を開設しました。たくさんの質問が寄せられ、**一つ一つ丁寧な返答**をしていました。時には専務や先輩などWINDY以外の方の返答もありました。組合員**みんなでたすけあい、新入生の大学生活をサポート**しています。



似た質問をTwitterのモーメントにまとめ蓄積しています (@windy_shitsumon) の

〔新学期〕
×
〔他団体・地域連携〕



奈良女子大学生協
学生委員会
新学期活動

委員長からのコメント

一時は開催しない方向で話が進んでいましたが、大学からの声かけがあり、全面協力のもと、受講相談会を開催することにしました。情勢が刻一刻と変化する中、学生委員それぞれが迅速かつ柔軟に協力した結果、多くの新入生に参加してもらうことができ、一緒に履修を組むことができました。「新入生の履修への不安を和らげたい」という、強い思いがあったからこそ、実現した企画です

職員の方からのコメント

今回の取り組みはLINELiveという学生に身近なやり方でどんな新入生に対してもこの取り組みを広げることができるように素早く、工夫をしながらやり切った点は本当に素晴らしかったです。学務課からの依頼ということもありましたがWINDY自身で安全に且つ正確に情報を届けられる環境を整えた点も評価できると思います。グループLINEの作成に当たってはそれ以降のコロナ禍での生協の発信にもつながりました。

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
新型コロナウイルスの感染拡大により混乱している新入生に対して学生生活の基盤である授業の履修情報を迅速に提供し、サポートができた事に関して大きな成果だと考えられます。これまでの大学生協への信頼があったからこそその取り組みでした。その期待にしっかりと応え、大学との絆をさらに深めることができたことも成果だと考えられます。
- 取り組みから見た課題
来年度以降の受講相談会の形式をしっかりと考える必要があります。情勢に合わせながら大学と新入生のニーズを抑えて取り組んでいきたいですね。



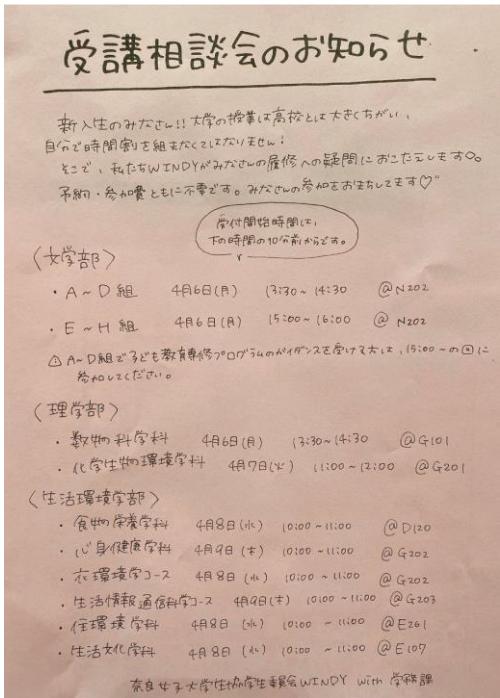
組合員の現状
一年生なので授業の履修の方法やとるべき授業があいまいで分からない…



組合員の理想の姿
授業の履修を自らの判断で組み、授業を受ける環境が整う。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！



twitterリンクです【🐦】



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [金ヶ江 七海]
Kanagae.Nanami@univ.coop

みんなの悩みをみんなで解決 オンライン合同説明会☆

日常的に交流する他団体同士で、新入生へ向けて委員会活動を知ってもらう機会を設けました。

活動概要

- 【内容】学内の委員会と協力し、オンラインで新入生へ向けて活動を紹介する場を設けた
- 【日時】6月13日
- 【媒体】Google Meet
- 【参加者】30人



POINT.1

みんなで作る説明会 学生委員会の特徴はなに？

大阪電気通信大学生協では、普段から学内の委員会同士が協力し、企画を実行しています。今回、新入部員獲得に悩んでいるのは学生委員会だけではないこともあり、他団体と協力してオンラインで学生委員会の説明会を行いました！

他団体と協力することから、まず各委員会の特徴を工夫して伝えるために、生協学生委員会の強みや特色を分析しました◎

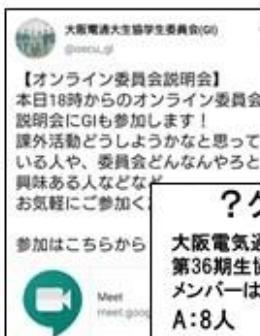
それにより、課外活動についてあまり知らない新入生が、短い時間でそれぞれの委員会の良いところを知ることができました！*



POINT.2

新入生の立場になって

より多くの新入生に参加してもらうために、使用する媒体や質疑応答の方法について模索しました。使用する媒体は、「授業で使うことが多いMeetを使う方が良いんじゃないか」であったり、質疑応答は「チャットを活用すると、新入生の参加のハードルが下がるんじゃないか」というように、新入生の立場を考慮して考えることができていました◎



?クイズ?
参加はこちらから
大阪電気通信大学 第36期生協学生委員会のメンバーは何人でしょうか？
A:8人
B:23人
C:103人

[新学期]



大阪電気通信大学生協

合同委員会説明会

企画担当者からのコメント

慣れないリモートでの企画でしたが、学内の他団体と相談して参加しやすい形式を考えました。当日も他団体と協力し、多くの新入生が課外活動に興味を持つ機会を作ることができました。また、各団体のSNSを通して合同委員会説明会の宣伝をおこない、なるべく多くの新入生に情報が回るようにもしました。

職員の方からのコメント

生協学生委員会は、当然ですが大学公認の委員会ではありませんが、普段から様々な活動を学生自治会や大学祭実行委員会などの委員会と一緒に活動を行っている関係で、説明会に参加させてもらっています。遠隔授業メインのタイミングで基本的に大学に来ることができない中、新入生の不安の解消と、課外活動について知らせる活動がなんとかできたと思います。後期もフル登校にはなっていないので、引き続いて何かできると思っています。

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
学内の他団体と共に作り上げることで、多くの参加者に来てもらうことができ、学生委員会にも数名入ってくれる成果が得られた。後日Twitterにて新入生の相談も受け付けることができた。
- 取り組みから見た課題
Twitterでの情宣が主だったため、Twitterをしている人でないと情報がいかないこと。また、全団体が多くの新入部員を獲得できたわけではなく、なかなか目標を達成することができなかった。



組合員の現状
新入生が大学の学生や先輩と関わる機会がない。



組合員の理想の姿
学内団体との交流をきっかけに、不安や悩みを先輩に打ち明けられる。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！

オンライン委員会説明会

日時
6月13日 18時から開始
配信媒体 Meet

各委員会がそれぞれどんなことをしているかを20分ほどでご紹介します。質疑応答の時間もあるので、委員会に興味がある人は気軽にご参加ください。

順番

常任自治委員会→大学祭実行委員会
→四條畷キャンパスイベント運営委員会
→生協学生委員会→体育会

配信URL

自治会Twitter
連絡事項があった場合
各委員会のTwitterで連絡いたします。

新生に寄り添う姿勢を大事に！

新生にとって困難な履修登録について直接先輩に相談できる場がなくなってしまった現状から、オンラインでの相談会を始めました！

活動概要

日時：4月21日から
媒体：LINEのオープンチャット
参加者数：22人
内容：新生にオープンチャットのグループに入ってもらって、GIのメンバーが質問に答えたり、履修登録についてのアドバイスをしたりした。

POINT.1

新生に寄り添った対応！

新生は履修登録の仕方やおすすめの授業もわからない状態で困っているという現状を受けて、オープンチャットに履修の際に参考になる資料をあげていました。（昨年授業を受けた学生にGoogleフォームでとったアンケート結果や時間割の一覧など）

質問箱でも履修のことについては答えていますが、質問者と回答者がオープンチャットではわかる分、ひとりひとりの悩みや不安に寄り添った対応となっていました。新生もたくさん質問して不安解消ができていたようです！

POINT.2

自分の経験をもとに

新生には履修の手引きが配られるのですが、その履修の手引きの見方を解説していました。授業の中身についてはほかの団体も情報は出してくれているけれど、基本的な履修の手引きの理解が難しいだろうなという想いから作成したそうです。

自分が新生だった時になにが大変だったか、どういうところに困るだろうかという想いから行動して新生に伝えているのが素敵ですね！



[新学期]



神戸市外国語大学生協 オープンチャットでの 履修相談

企画担当者からのコメント

例年のように対面による相談ができない分、これまでに何世代もかけて蓄えてきた授業の情報などを最大限に活かすことを目指しました。オープンチャットという形で行うことで、匿名かつ素早い質疑応答ができたと思います。

情報の量や質にはかなりの自信がありましたが、SNS等による告知が遅くなってしまい、より多くの新生に乗ることができませんでした。今後はより多くの声に応えられるよう取り組んでいきたいと思っています。

職員の方からのコメント

緊急事態宣言が発出され、新生が一番不安な時期に非常にタイムリーに実施できた企画だったと思います。先輩の実体験に基づく、きめ細かいアドバイスができるのも大学生協の強みだと思います。

新型コロナの影響が続き、学校に来る機会が少ない中、まだまだ不安な1年生がたくさんいるようです。引き続き、組合員に寄り添った企画を一緒に実施してバックアップしていきたいと思っています。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

新生の不安に先輩としての経験や実感を大切にしながら、一人一人に親身になって寄り添った対応ができていたこと。

●取り組みから見えた課題

履修相談のオープンチャットということだったので、どうしても履修登録の間だけでつながりが終わってしまいました。その後も1年生が困ったことや不安なことを継続して相談できる場として活用できれば、より組合員とつながりを持てたのかなと思います。



組合員の現状

入学したてで、不安や疑問がたくさんあって、どうすればいいかわからない。



組合員の理想の姿

不安が解消されて、充実した大学生活が送れるようになる。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！



大阪樟蔭女子大学生協 保護者説明会

基本データ

日時：2020/02/09 10:00-14:30

場所：翔空館

運営体制：

職員2名 | 学生委員20名 (OGも含む)

参加者数：約110名

目的/概要

この企画は、入学前の新入生・保護者の方々の不安解消を目的に行われました。

説明会・キャンパスツアー・ブース見学を通して、入学前の準備をサポートしました。

コンテンツ

- ・大学生活や生協についての説明会
- ・学部別のキャンパスツアー
- ・食堂利用体験
- ・ブース見学

01 現役学生委員・OG・職員さん みんなでつくる保護説

それぞれの視点や経験を最大限に活かす

1回生は去年の自分を思い出しながら実体験に基づくアドバイスをし、2回生は運営の中心として周りを引っ張りながら、しっかりと学生目線の意見を提供していました。OGは専門的な授業内容や就活などの話で学生委員をカバーし、職員さんは長年の経験や事業面の知識を用いて、保護者の方への的確なアドバイスをしていました。

それぞれの強みを活かして、みんなで新入生を迎えようとしている姿勢が素晴らしいです◎



初日でしたが、臨機応変に対応していました。それぞれが自分にできることを探す姿勢が素敵でした！

02 新入生・保護者の方が 自分事として考えやすい説明

「説明」は学生自身のことばで

新入生・保護者にとって馴染みの薄い大学生協についての提案は、オリジナルの紙芝居を用いて行いました。各種サービスが**必要となる状況**を聞き手が想像できるように、**自身の大学生活での出来事などを織り交ぜながら説明**していました。参加した保護者の方からは「パンフレットだけじゃ分からなかった学生の意見が聞いて良かった」という声もありました。



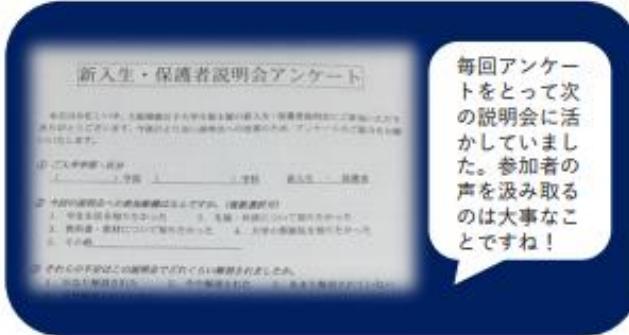
学部ごとに少人数で説明を行いました。同じ紙芝居でも、話し手の個性が出ていてよかったです◎

03 次を見据えた みんなの成長のための反省会

よりよい保護説のために何度も話し合う

樟蔭の保護者説明会は計5回行われます。常に次を意識して何度も話し合い、改善を重ねていたのが印象的でした！個人の反省点はお互いにアドバイスし、全体の反省点はみんなで意見を出し合い試行錯誤していました。

また反省会において、改善点だけでなく良かった点や頑張った点を挙げて、お互いを高め合っていました◎



毎回アンケートをとって次の説明会に活かしていました。参加者の声を汲み取るのは大事なことです！

企画担当者からのコメント

保護者説明会では、学生生活の説明やキャンパスツアー・教材展示・4回生による大学生活4年間のお話・振り返り紙芝居等内容が盛りだくさんでした。

保護者説明会のプログラムが終わり、保護者と参加していた新入生が「私たちのために内容を考えたり準備してくれてありがとうございました」と声をかけてくれました。新入生の不安を解消できるよう皆で考え準備したので、不安を解消し大学生活を楽しみに思っ笑顔で帰る姿を見ることが出来て良かったです。



職員の方からのコメント

代表学生委員数名と店長で打ち合わせを重ねた説明会は、「学生主体」で、新入生にとっては、ご自身のキャンパスライフを、保護者様にとっても娘様の4年間をイメージしやすくなっていると思います。学生委員自身も、新入生から「かっこいい、あこがれの先輩」とみてもらえるようないきいきとしていた姿を発揮し、私もうれしく感じたものです。本年のテーマを「楽しみが増える新学期」としましたが、新入生にとっても学生委員にとってもまさにそんな説明会になったのではと感じています。



取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

1~4回生がそれぞれの視点で大学生活や大学生協の説明を行うことで、漠然とした不安を抱えていた新入生や保護者の方も入学前から4年間のキャンパスライフを自分事としてイメージしやすくなったと思います。

●取り組みから見た課題

保護者説明会に参加できなかった人は先輩からの大学生活の話や大学生協の説明を聞く機会のないままキャンパスライフが始まります。参加できなかった組合員にも何かしら事後アプローチができるとよりよくなると思います☆



組合員の現状
はじめての大学生活に不安を抱いている。



組合員の理想の姿
入学前の不安や悩みを解消し、安心して入学準備を行うことができる。さらに、4年間のキャンパスライフをイメージできるようになる。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！

兵庫県立大学生協 入学準備ガイダンス

基本データ

日時：2020/2/15 10:00-13:00

場所：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス

運営体制：

職員2名 | 学生委員40名

目的/概要

新入生や保護者が感じる大学生活の不安を先輩学生から直接解消し、これからはじまる新生活を楽しみに感じてもらう。

コンテンツ

- ・進路インタビュー
- ・学部別の時間
- ・大学生協について
- ・食堂体験&相談ブース

00 6月から職員と 新学期ミーティングを実施

職員さんと綿密な連携◎

兵庫県立大学生協では6月から2週に1度のペースで、定期的に新学期ミーティングをおこなっています。この新学期ミーティングには学生委員の新学期担当と職員さんが参加し、主に入学準備ガイダンスと新歓パーティについて話し合っています。学生は学生生活を送っている実感を伝え、それをもとに職員さんが経験から案を提示するなど、それぞれの立場から意見を伝えることができています。

新入生・在学生の実態を調査

学生委員会に入部した1回生に向けて、「入学前や1回生の春に不安に感じていたこと」を調査しました。また、在学生には通学時間などの大学生活における実態を調査しました。このような新入生や組合員の情報を調査しておくことで、新入生や組合員が知りたい時に必要な情報を提供することができたり、よりニーズに沿った活動になります。実際に兵庫県立大学生協での入学準備ガイダンスでは、調査から多く出た不安に感じていたことをもとに説明会を作り、このようなデータを数値とともに説明したり、アンケート結果の資料を配布しました。



01 卒業を控えた4回生への 進路インタビュー

大学生活4年間を見据えられた

兵庫県立大学を卒業する学生委員の4回生を各学部ごとに迎えて進路インタビューをおこないました。進路を決めたきっかけやそれを目指すにあたってどんなことに取り組んだのかを伝え、新入生が新生活をイメージできるようにしていました。また、進路の情報を得る方法として、大学のキャリアセンターを紹介し、新入生は大学がサポートしてくれる安心感を感じることができたと思います。



企画担当者からのコメント

Zoomでのミーティングの場合、企画について言葉でだけ説明すると、伝わらない部分が多々あります。そのため、同じ方向性で企画を進められるよう、小さなことでも数枚のスライドを用意し、画面共有を用いて話し合うということを工夫しています。また、副産物としてZoomの予約機能やホストの役割など、様々なZoomの機能を活用できるようになっています。本番もオンラインでの実施になるため、どのようなリスクが考えられるか想定しやすくなりました。

新学期ミーティング
に焦点を当てて
記載しています

職員の方からのコメント

部会開催にいち早くZoomを取り入れていたのを見て、新学期イベントの打合せや実施にも活用できそうだと思います。Zoomだけだとどうしても交わせる情報が少なくなるため、テキストコミュニケーション用にSlackを新規導入し、担当者と生協職員のやり取りが周りから見えるようにしています。

↓実際のスライド

1.Slackについて

従来はファイルアップ用に使用していましたが、これ以降のテキストコミュニケーションは原則としてSlack一本に絞ります。

- ・アプリの通知をオンにしておいてください
- ・特定の相手宛てのメッセージは「@」を付けて →全員宛なら「@channel」

いまは吉田⇔GI間の連絡用ですが、後々はGI⇔GI間の連絡用にも使ってもらいたいです。

univ
E.O.P.O.R.
新学期ミーティング2021

#5 2020/09/15(火)

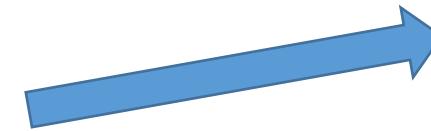
取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

大学に登校できない状況でも定期的に連絡を取り合うことができています。

●取り組みから見えた課題

対面と比べ双方向に話す時間が短く、話が発展しづらいことが課題です。また、イレギュラーなことも多くありますが、ガイダンス本番でイレギュラーなことに対応できるよう、ミーティングのときから様々な環境で多くの方法を実践し、それらに対応できるようになるということも一つの課題です。



組合員の現状(今の一回生)
オンライン授業だったので入学前の情報収集ができず、友達を作る機会もほとんどなかった。

組合員の理想の姿(次の一回生)
オンラインで説明会があったので、学校に行けなくても色々な話が聞けた。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.11.12
Vol.053

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

声を届けやすい工夫で 組合員みんなで作る生協に！

京都教育大学では、6月から大学での対面授業が開始しています。総代が声を届けやすい工夫をおこない、組合員みんながわくわくするお店づくりにつなげています。

活動概要

日時：6月10日(水) 13:00~13:30
場所：大学のいくつかの教室に分かれて実施
参加者数：約90名
内容：生協・総代会・総代について、昨年度総代会で実現したこと、ひとことカードの記入、店舗の利用方法の紹介、購買に置くパンの投票



[総会・総代会]
×
[店舗]



京都教育大学生協
総代会会議

POINT.1

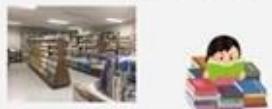
総代が声を届けやすい工夫満載です！

総代会議当日は総代会や総代の役割について伝えるだけでなく、「お店の外の席に屋根を付けてほしい」や「食堂のひとり席を増やしてほしい」など、昨年度の総代会で出た意見の中から反映したことを伝えました。声を反映したことを伝えることで、みんなで作る生協だということを実感し、総代が主体的に声をあげることにつながります！

また、組合員にもっとひとことカードを活用して欲しいという思いから、総代にひとことカードをその場で書いてもらいました。たくさんの意見が出され、この意見の中から総代会当日に取り上げてみんなで議論していきます。事前にひとことカードの形で意見を出すことで、総代会当日の活発な意見交流につながります！また、ひとことカードの存在を知ってもらうことで、総代会当日だけでなく年間を通じた運営参加にもつながりますね◎

書籍

書籍では本や教科書だけでなく
新刊種の漫画なども買える！



食堂を利用するときのマナー

1. 食事後はすみやかに席を譲ろう
2. 順番を守ろう
3. 食器の返し方に注意！
スプーンと箸は所定の場所に返却
お皿は重ねないでください！
4. 食器洗剤の横に「ごちそうさま」のひとこと！

▲今年度の総代は1回生が多いことから、店舗の利用方法を紹介しました！

POINT.2

組合員みんながわくわくするお店づくり

総代会議当日は、総代を対象に購買で扱っているパンの人気投票を行いました。総代会議後はポスターなどで購買を装飾し、組合員に向けてもパンの人気投票を行いました！

組合員がみんなで作るお店だということを実感し、楽しくお店を利用できますね◎



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [山崎 美久]
Yamazaki.Miku@univ.coop

企画担当者からのコメント

今までは総代の仕組みについて分かりづらい部分があったが、総代の仕組みをかみ砕いて説明したり実際に総代から出た意見を伝えてイメージできるように工夫した。また、総代が楽しく参加できるように購買扱うパンの人気投票を行って、総代の意見がお店に反映される実感を持ってもらったりお店の存在を知ってもらうようにした。

また、総代のLINEグループを作成してリマインドを行ったり年間を通じて総代であることが伝わるように学生委員会の企画の発信を行った。

実現したこと、その①

すばるの外の席に屋根を付けてほしい。



職員の方からのコメント

今年はコロナ禍の影響で、総代会の延期などもあり総代会議自体もコロナの影響で開催をどうするかというところでした。そんな状況の中でもコロナ対策を行いながら粘りよく取り組み立派に形にできたことは素晴らしいと思いました。またひとことカードの取組やブロンのもっり企画などこれまで京教の課題であった組合員と店舗の距離感が縮まったよい取組だと思いました。



取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

当日にひとことカードを記入してもらい、総代会当日やその後のお店づくりにつなげた。パンの投票企画には多くの参加があり、お店を知ってもらう機会になり利用者が増加した。

●取り組みから見えた課題

学生委員会と総代の違いが伝わりづらかった。また、企画担当者のみで進めてしまったので、学生委員会全体で話し合いながら進められればもっと良いものができるのではと思う。



組合員の現状

1回生の総代が殆どで、大学に慣れておらず総代や生協のお店について知らない。



組合員の理想の姿
実際に総代の声がお店に反映されることを実感。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.7.14
Vol.030
【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

総代会の事前活動を 工夫しました◎

議案書は情報量が多く、必要な情報の選択が難しいと感じた学生委員会が議案の内容をわかりやすく総代の人に伝えていました◎

活動概要

日程：議案書を総代に送るときに一緒に送付。
概要：議案書の内容を総代の人に理解してもらうために、学生委員会自身が議案書ダイジェストを作りました◎



POINT.1

より総代会を理解してもらうために



議案書に書かれてある情報が多すぎて、何が大事なのかが分かりづらい現状を学生委員会が把握し、必要な情報だけが載っている議案書ダイジェストを学生委員会が作りました◎ 学生自身の言葉で図を用いて説明してあるので、同じ学生である総代にとってよりわかりやすい内容を届けることができていました◎

また、冊子の最後の方に用語集のページがあり、総代の人分かりにくい用語の解説を載せることで議案書の内容の理解を深めることができていました◎ 更に、議案書ダイジェストの使い方をマンガ形式で伝えてわかりやすくすることで、より自分にとって総代会を身近に感じることができたり、総代が総代会へ参加しやすい形になっていました◎

POINT.2

組合員自身が参加するきっかけに

議案書ダイジェストの中に、学生委員会のことについても記載して、学生委員会を知ってもらう機会も作っていました◎ 総代が学生委員会の活動内容を知って、身近に感じてもらったり、今後の企画に参加したり、組合員自身が活躍するきっかけになっていると思います◎



[機関運営]



大阪大学生協 議案書ダイジェスト

企画担当者からのコメント

議案が出来上がってから議案書を総代に送付するまでの間に、議案を理解し、記事を作り、製本するというスケジュールの過酷さ。新歓の時期もかぶっているという时期的な問題。そしてコロナウイルス。様々な問題がありながら、質を維持し、負担も減らしながら実行できたのは「綿密なスケジュール調整」と「職員さんとの連絡」にあったと思います。議案の内容が難しいという想いに気づき、できる限り読みやすい記事を作ったことがこの企画の一番の魅力です。



職員の方からのコメント

総代会議案書ダイジェストは、学生組合員（総代）と生協理事会をつなぐ大切な活動です。私たちは専従職員を中心に、事業や組織における方針の検討、そして年度総括を進め、議案書として仕上げていきますがそれを組合員視点でわかりやすく報告することから、総代会にて議案に対して意見を述べていただき阪大生協が新たな視点に気づくということがあります。そういった意味で継続していきたい活動です。

専務理事 野尻 郁智



取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
総代会や議案に対する興味を引くことができた。そして、今年度は総代会が縮小に伴い、総代の多くが書面議決となった中、議案に触れる数少ない機会として、議案の理解に貢献できた。読んでもらいやすくするために、漫画などを用いて堅い雰囲気を出さないよう心掛けた。
- 取り組みから見えた課題
この企画を通じて総代が自身の役割を理解できた。しかし、総代としての役割を果たす機会が少ないことや、総代同士の繋がりが希薄なことで、「日常的な総代活動」を実行できていない。また、組合員全体に働きかけできていないことも課題である。



組合員の現状
総代や総代会について知らず、「運営」参加が十分にできていない。



組合員の理想の姿
総代会への出席だけでなく、様々な形で「運営」参加している。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [山根 そよか]
Yamane.Soyoka@univ.coop



印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.8.10
Vol.037

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

組合員の現状から企画につなげました！

もらっても捨てちゃうレシート…実はもったいない？！
組合員の栄養素の偏りをレシートから分析した取り組みです！

活動概要

日時：2019年12月12日～20日
場所：食堂
回収したレシート枚数：1650枚！
概要：捨ててしまうレシートを回収し、組合員の栄養素の偏りを調査した取り組み。結果として野菜の多く入った、豚汁を値下げし組合員に提供しました。



POINT.1

レシートで現状分析！



多くの組合員が利用する食堂で組合員のレシートを5日間回収し、すべてのレシートの三郡点数法の平均をとりました。企画背景としては、組合員が三郡点数法が記入されたレシートを見ずに多く捨てられていることに気づいたからです。この気づきからレシートを利用し組合員の栄養素の偏りを調べ、結果をもとに足りていない栄養素が多く含まれるメニューの値段の改定につなげ、より健康な食事を組合員に提案する目的で行われました。ただ値下げし、健康的な食事の提案をするのではなく組合員の実態をふまえて取り組みにつなげました。1650枚という大量のレシートを分析するのは大変でしたが、組合員の実態を今まで以上に把握することができました！

POINT.2

食堂から健康な食事の提案

現状分析の結果をふまえ、今回の企画ではレシートの三郡点数法の見方を紹介したポスターを食堂の一番目にとまるところに設置していただきました。組合員の食を支えている食堂から食生活の提案や健康の啓発を行うことにより、組合員に直接発信することができました！



【健康・安全】

×

【店舗】



滋賀大学彦根地区生協
レシートバランス調査

企画担当者からのコメント

きっかけはバランスの良い食事をする事に焦点をあてた取り組みでしたが、そもそも組合員がどんな食事をとっているか知る必要があると判断したため、レシートを回収することになりました。回収したレシートを一つ一つ分析することがかなり大変でしたがこれを機に三郡点数法を組合員に知ってもらいたいと感じレシートの味方のポスターも貼りだしました。多くの組合員に参加がとてうれしかったです。

職員の方からのコメント

今回の取り組みは学生目線の取り組みとして評価ができます。根気強く大量のレシートを分析した点も組合員の現状を把握することにしっかりと焦点を合わせられたこともよかったと思います。

新型コロナウイルスの影響によりせっかく把握した現状も活かせぬまま終わってしまったことが残念です。落ち着けば、またみんなで取り組みにつなげていきたいですね。

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
組合員の現状の分析方法を知ることができたことが学生委員会の成果に挙げられるとえます。
- 取り組みから見えた課題（目安90字）
あ今回の取り組みは現状分析の手法であり、どれだけの組合員が野菜摂取量を増やしたかは見る事ができませんでした。今回あつめたデータをぜひ他でも活かして行ってほしいです。



組合員の現状
私たちはバランスの良い食事をしっかりととれているのかな？



組合員の理想の姿
バランスの良い食事を組合員みんなでとれるようになりたい！

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [金ヶ江七海]
Kanagae.Nanami@univ.coop

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.2.5
Vol.011

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

たくさんの団体と協力して 多くの組合員を巻き込む！

多くの組合員や学内・外団体を巻き込みながら、自分の健康状態について考える場を提供することができました！

活動概要

日時○2019年12月23日(月)15:00~18:30

場所○杉本キャンパス 北食堂

内容○アルコールパッチテスト、体組成測定、
血管年齢測定、骨密度測定、健康相談、
食生活相談などのブースを設置。
餅つき体験コーナーでつきたての餅を
提供。



POINT.1 連携によって多くの組合員を巻き込む

①学内TFTサークルとの連携

ブースの運営側として携わっていただきましたが、楽しそうに参加しているのが印象的でした。運営側として他の組合員の健康をチェックし、それを受けて自分の健康を見直す機会にもなって良いですね！



②南大阪医療生活協同組合との連携

南大阪医療生協の方には血圧や体組成測定などの結果を通して食生活相談を担当していただきました。専門知識を活かして、組合員には正確な情報を伝えました。みんなが健康な生活を送ってほしいという共通の想いをもって連携し組合員にアプローチすることができました！

市大組織部は人数が少ない中でしたが、上記の他にも市大生協の職員さんなどの協力によってブース数10個、参加者が100人規模というたくさんの組合員を巻き込んだ企画を実施でき、組合員に健康を見直す機会を与えることができました！



POINT.2 興味を引く情宣

学生に配るピラと教職員に配るピラを変えることでそれぞれに対して興味を引くような内容を掲載しました。また、目を引くような情宣をすることで、たくさんの組合員を企画に巻き込むことができました！



[共済]
×
[健康と安全]



健康フェスタ2019
大阪市立大学生協

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [永江 孝太郎]
Nagae.Koutarou@univ.coop

企画担当者からのコメント

食生活って振り返ってみると思ったより乱れていると思います。特にテストシーズンになるとその乱れは加速し、生活リズムも乱れて体調を崩しがちだと思います。そんな中で、いろいろな団体と連携して職員さんとも協力して健康企画を行って組合員に健康を考えられるきっかけを与えられてたらいいなと思います。



職員の方からのコメント

今回の取り組みは、組合員に対して健康を意識して頂くという企画の趣旨はもちろんですが、学内の他の団体や医療生協の皆さんとその趣旨に向かって一緒に取り組めた事も、生協らしい取り組みだったのではないかと思います。



取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

組合員は健康に関して、まず自分の健康状態と自分に合った予防策・改善策を知り、特に予防の面から健康について意識することができた。

●取り組みから見た課題

予防策を練っていても万が一のときのために共済についての情報を提供できるとよかった。身の周りでも起こりうることを実感するために給付事例を用いて注意喚起を行えるとよかった。



組合員の現状
時期的に生活リズム・食生活の乱れが起こったり体調を崩しやすい。



組合員の理想の姿
年末年始を元気に楽しく過ごす。冬休み明けにもしっかり学業を行えるようにする。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.10.21
Vol.049

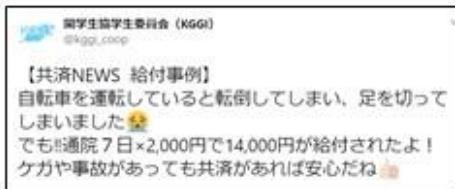
【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

今だからこそたすけあいの輪を広げたい

キャンパスに行くことが少なくなった状況の中でもたすけあいの輪を広げたいとの思いから、SNSでの予防活動を定期的に行いました！

活動概要

【内容】
新型コロナウイルスの影響により、オンライン授業が中心となった状況でもたすけあいの輪を広げたいとの思いから、Twitterで定期的に共済NEWSの発信を行いました！



POINT.1

オンラインでたすけあいの輪を広げる

新型コロナウイルスの影響で**キャンパスに行くことがなくなった中**でもたすけあいの輪を広げたいとの思いから、今まで店舗などに掲示していた共済NEWSをTwitterで定期的に発信しました！

ケガや病気をしても共済に加入していることを知らず給付を受けられない人が多いという現状に目を向け、「共済とは何か」「加入しているかどうか分からない場合にはどうすればいいか」などをまとめました。



POINT.2

自分たちの生活実感から

共済NEWSの内容は、**学生委員自身が普段の生活の中での気づきから、他の組合員にも知ってもらいたいというものを記載しています！**
「オンライン授業で家にいることが多いからこそ、睡眠の質を大事にしましょう！」「友だちに相談できず心に負担を抱えていませんか？」など、**その時々合った内容を発信することで、組合員が共感したり、たすけあいの輪を広げてより多くの組合員に健康を意識してもらうことにつながっていました！**



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [岡 映心子]
Oka.Emiko@univ.coop

[共済]
×
[健康と安全]



関西学院大学生協
オンラインKGG共済NEWS

企画担当者からのコメント

今回は、Twitterを用いた活動を行いました。前半(6,7月)には、共済ボードの中でも**特に注目度が高い給付事例を取り上げる**ことで、**より多くの組合員に共済への興味・関心を抱いて頂けるよう工夫**しました。また、後半(10月)では、共済への基礎知識やコロナに関する内容を取り上げたボードを作成しTwitterに投稿しました。今回は、Twitterのみでの投稿となりましたが、**今後はInstagramも用いることで、より多くの組合員に共済を認識してもらえよう努めたい**と考えています。



職員の方からのコメント

キャンパスに学生が登校できない状況下、学生委員会ではオンラインで様々なことに取り組んでくれていますが、これまで食堂ホール内に掲示していた共済ボードを、途切れることなく発信してくれているのは大変良いことです。**秋学期開始後、少しずつ給付申請などで窓口を訪れる学生さんが増えてきましたが、春学期の間は直接学生さんとやり取りができなかった共済に関わる職員にとっても、学生委員会の活動には励まされる**ところがありました。



取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
今回は、Twitter上のみでの活動となりましたが、ボードを掲載することと比べより多くの組合員に共済を知ってもらうことができ、非常に有効な手段でした。また、現状に合わせた内容をとり扱うことができ、良かったと考えます。
- 取り組みから見えた課題
給付事例を扱う際に、どうしても過去に扱った内容から取り上げることになってしまい、新鮮な情報を伝えることができなかった点が課題だと考えます。加えて、組合員を意識した上で4本柱をバランスよく取り上げることが求められると感じました。



組合員の現状
➢ 共済への認知度、加入が低い。
➢ 給付漏れが発生している。



組合員の理想の姿
➢ 共済を身近なものと感じてもらう。
➢ 給付について認識してもらう。

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.11.30
Vol.060

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

社会に目を向けるきっかけを

新型コロナウイルスの影響でオンラインでの活動が中心になった中でも、SNSで呼びかけるなどの工夫が見られました！

活動概要

【内容】

組合員に社会に目を向けてもらうため、生協店舗にペットボトルキャップの回収BOXを設けました。店舗でのポスターの掲示したり、SNSでの発信で発信したりすることで回収の呼びかけを行いました！



POINT.1

組合員に伝わる言葉でまとめる

昨年度のエリアフェスティバルでの他大学の人の交流をきっかけとして、組合員に社会に目を向けてもらいたいとの想いから、この企画がスタートしました！

このペットボトルキャップの回収を行う際には、ペットボトルキャップの回収が国際貢献やSDGsの達成にもつながっていることなどを調べたり考えたりして1枚のポスターにまとめていました！このように分かりやすくまとめることで、より組合員に伝わる言葉になり、共感を広げやすくなっていました！またこのポスターを生協店舗に掲示することで、身近なところから社会に目を向けてもらうことができていました！



POINT.2

継続的に社会に目を向ける

新型コロナウイルスの影響でオンライン授業になり、実際に店舗に訪れることが少なくなった状況の中でもInstagramでペットボトルの回収を呼びかけることによって、組合員に継続的に社会に目を向けてもらうきっかけを作ることができていました！



【環境】



阪南大学生協 ペットボトルキャップの回収

企画担当者からのコメント

自大学で、社会に目を向けた取り組みを実行するのは、今までに無く、ほぼ初めての取り組みとなりました。
探り探りの中ではじまった企画でしたが、具体的に中身を決めていく中で、自分たちのやりたいことが明確になっていくことに楽しさを覚えました。

多くの組合員の方がキャップを回収ボックスに入れてくれる姿を見ることができるようになりました。

今は、コロナ期間の学校閉鎖も終え、また少しずつ回収量が戻ってきていると考えます。その中で、これからの課題として、組合員への報告をしっかりと行うっていききたいと思います。

職員の方からのコメント

・2020年1月21日からスタートしたペットボトル回収活動は、『世界の子供を救おう!』をスローガンに現在も継続しています。現在は、コロナ禍で回収量は少ないですが、非常事態宣言発令までは、学生、教職員の参加が見られました。『回収場所はどこですか。』と言った店舗での問いかけもありました。また、これとは別に大学のゼミと企業が連携してSDGSの環境活動として大学マスコットがデザインしてエコバックの販売も生協が協力しています。産学連携活動に今後は、学生委員会も活動を強化していただけると期待しています。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

・生協食堂やコンビニで購入したペットドリンクを飲みきったら、キャップを外して回収箱に入れる姿が日に日に多くみられました。回収ボックスがあふれる日もあり、学生委員会活動が、浸透しております。これはすごい成果であり、継続することが必要と考えます。

●取り組みから見えた課題

・回収ボックスがわかりにくい、回収場所が少ないなどの声もあります。本キャンパスだけではなく南キャンパスでも活動を広げることが課題です。今は学生が少ないですが、これまでの回収結果を告知したり、目標設定してみんなで達成する活動ができればと考えています。

組合員の理想の姿

一人でも多くの学生が友達に伝え、口コミでの拡大を目指せればと考えています。また、SDGSに参加して社会貢献になっていることをみんなが自覚できる活動になればと思います。



21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [岡 映心子]
Oka.Emiko@univ.coop

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.6.10
Vol.020
【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

総代から広がった取り組み！

阪神淡路大震災を経験した神戸。甲南大学生協では大震災を忘れてはいけなく毎年大切にしている1月に、総代の声から防災の取り組みが実現しました！

活動概要

日時：1月10日～1月20日
概要：1.17 にむけて、震災の写真展を開催復興アクションとして、食堂でひまわり油のこくうまみそ汁 を提供。



POINT.1

きっかけは総代の懇親会

今回の取り組みは、117KOBEBょうさい委員会に所属している総代が、総代会の懇親会の際に生協職員に声をかけたことから広がりました。総代会の懇親会は総代とコミュニケーションが取れる場です。総代である学生の声をしっかり聞き、大学生協・大学も協力し、たくさんの組合員に向けて、防災について考える機会を作りました。

POINT.2

忘れないように1.17に思いをはせる

1995.1.17に阪神・淡路大震災が起こり、神戸市にある甲南大学は大切な人々や思い出、建物などを失うこととなりました。震災から25年がたち、時間の経過とともに忘れてしまうことのないように、甲南大学では阪神・淡路大震災を大切にしています。

今回、1.17に向けて、震災のパネル展を開催しました。甲南大学の阪神・淡路大震災の記録や災害への備えをパネルや避難所再現にまとめています。このパネル展は117KOBEBょうさい委員会に所属している甲南大学生が中心となって、甲南大学、甲南大学生協、神戸新聞社が協力して開催されました。

阪神・淡路大震災のさまざまな人の経験や教訓を知り、防災について考えるきっかけになってほしいというたくさんの人の願いが込められた取り組みになりました。



大学提供の
大学周辺の
被災の様子



大学生協
提供の
他大学生協
からの応援
メッセージ

[機関運営]
×
[防災]



甲南大学生協

1・17 防災の取り組み

2枚目はコチラから

企画担当者からのコメント

甲南大学生協総代の
企画立案の学生より

117KOBEBょうさい委員会の中で、震災後25年を迎えるにあたってやりたいことはありませんかとお知らせがありました。これまでのイベントは小、中学生向けのもが多かったのですが、私はぜひ同年代の人たちに震災について知ってほしいと思い、大学生向けのイベントをやりたいと思いました。

甲南も大きく被災した大学だったので、少しでも甲南生に知ってもらいたいと考えました。僕たちだけでは力が足りなかったので、生協の力をお借りできればと思い声をかけさせていただきました。

職員の方からのコメント

甲南大学生協
内田専務より

甲南大学生協は、いろいろな学生さんから協力を求める声がありますが、震災の件は今回が初めてでした。何度か話し合いをする中で、取り組みへの真剣さに私自身も勇気をもらえたとし、企画を立ち上げた学生さんが生協を頼ってくれて、そのお手伝いできたことはすごくうれしかったです。今回のように「こんなことをやりたい」と言ってきてくれる学生はもちろん、何かやりたい、けれどどうしていいかわからずなかなかできていないという学生にも呼びかけられる活動をどんどんやっていきたいです。

取り組みの成果と課題

●取り組みの成果

取り組みに参加した組合員が身近なところから震災について知り、考える機会になった。さらに、取り組みの立案に携わった学生も震災について学ぶ中で大きな財産を得ていた。

●取り組みから見た課題

学生同士が直接つながる機会が少なくなったので、何かやりたいけれどなかなかできていない学生に対して呼びかけられるように。



組合員の現状

- ・同年代の学生に震災について知ってほしい
- ・大震災の教訓が薄れており防災意識が低い



組合員の理想の姿
大震災での教訓を知り、考えることで防
災意識を高め、行動している

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！

印刷して職員・学生
皆さんでご覧ください！

2020.10.21
Vol.048

【発行元】
全国大学生協連
関西北陸ブロック

社会に関心を持つきっかけは 継続的な発信から

社会に目を向ける取り組みとして、毎週ちょっきにを作成し継続的に組合員へアプローチすることができていました！

活動概要

- 【背景】組合員・学生委員が社会に目を向けるきっかけを作りたいという想いから
- 【内容】「ちょっきに」を作成し、毎週TwitterやInstagramに投稿
- 【期間】4月～毎週発行してます



POINT.1

防災 #豪雨災害編



社会的課題は難しい？

近畿大学生協では、社会に目を向ける取り組みとして多くの人が気軽に見ることができる「ちょっきに」を毎週作成・更新しています。社会的課題は難しい印象がありますが、まずは作成する自分たちが興味を持っていることから調べ、組合員と同じ学生としての「ちょっと気になる」を取り上げることができていました◎

さらに、社会的課題は単発的でなく継続的に取り組むことでより多くの人から考えられるきっかけにしようという想いも込められています！

POINT.2

「今」の社会を見据えた内容

発信する内容は社会の現状という点も意識しています！
今年の7月から始まったレジ袋の有料化に関するテーマや、夏に台風や豪雨災害が多くあったことから防災に関連した内容を発信していました。今の社会に着目することで、組合員が社会の一員であるという意識を持つきっかけにもなりました◎



【社会的課題】



近畿大学生協 週刊ちょっきに

企画担当者からのコメント

とにかく継続を意識した企画です。どんな発信物であっても、継続して発行しないことには見てもらえないはず。社会的課題に関して発信を行うツールで最もポピュラーなちょっきにを週刊にして、それを実現しました。作成を通して社会的課題に対して深く考えるようになり、それをより知ってもらうために他の企画が実現したり、という流れが生まれたのも良かったです。

企画の今後に関しては、まずは半年継続できたことを喜びつつ、組合員の声を聴きながら様々なテーマに触れることができているかなと思っています。(学生委員長 小嶋)

職員の方からのコメント

とりわけ、コロナ禍において学生会のリアル活動ができない中でSNSを活用した継続的な取り組みとして頑張ってくれていると思います。

「ちょっきに」として時事ネタを取り入れていたり、ちょっきに以外のコンテンツも盛り込まれているので、学生組合員からすると興味を持って閲覧いただけているかと思っています。

表紙についても雑誌の表紙を意識しており私もそのセンスにはいつも感心しています！(専務理事 後藤)

取り組みの成果と課題

- 取り組みの成果
組合員の目を引くため、継続的に発信することができました！また、分野やジャンルを絞るのではなく、タイムリーな内容にも対応することでより多くの人に見てもらえることができました◎
- 取り組みから見えた課題
社会に目を向けるきっかけを作りましたが、その先の組合員の行動が追いつかなくなったこと、気付きを取り組みへ反映させることが難しかったことが課題としてあります。



組合員の現状
日常的に社会へ目を向けるきっかけがなかなかない



Twitterはこちら→[Twitter](#)
Instagramはこちら→[Instagram](#)



組合員の理想の姿
社会的課題に関する興味・関心を持つことができるようになる

21年度方針との関係性

この箇所は1月の完成版で公開します！



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [乾 選可]
Inui.Haruka@univ.coop



高めあい
つながる想いを大切に



関西北陸ブロック活動事例集

2020年10月23日初版発行
2020年11月13日第2版発行

発行元：全国大学生生活協同組合連合会 関西北陸ブロック
(大阪市淀川区西宮原2-7-15 大学生協大阪会館5階)

編集者：全国大学生協連関西北陸ブロック 学生事務局